◇ 医療･看護･介護・福祉の役立つ情報、元気が出る！医労連のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞをご覧下さい

愛知県医労連12春闘速報20

発行　２０１２年５月２５日　愛知県医労連・西尾書記長
連絡先　〒456-0006　名古屋市熱田区沢下町9-3労働会館本館403
TEL052-883-6955　FAX052-883-6956　E-mail irouren@roren.net

ダイヤモンドオンラインに小林美希さん毎週金曜日連載開始　第１回 ランキング第１位に

【第 1 回】2012 年 5 月 25 日　小林美希 [労働経済ジャーナリスト]

［新連載］食事は 15 分、睡眠は 2 時間、40 人の看護に奔走――。“平成の姥捨て山”で燃え尽きる看護師の異常な日々

- まるで高齢者の「姥捨て山」のよう 家族に見捨てられた患者で溢れる病院
- もう、心身ともに燃え尽きた――。寝不足で医療ミス寸前の看護師たち
- 高齢化の「2025 年問題」が訪れるとき 60 万人もの看護職人員が足りなくなる
- 激務に耐えられず退職する看護師が続出 高齢患者急増の背景には診療報酬問題も
- 医療費削減で高齢者を追い出す国 ワリを食うのは受け入れ病院の看護師
- 仮眠中に帰らぬ人となった 24 歳の女性 看護師を「悲惨な職場」から救え！

ダイヤモンドオンラインを検索してヒット件数アップ。看護師の労働実態を世論化しよう

高齢患者急増で過労死寸前！　看護師の「悲惨な職場」を救え　小林美希　著

高齢者が次々に入院し、まるで“姥捨て山”のように置いていかれる。1 人で何十人もの患者を担当し、食事する時間も寝る時間もほとんどない。そんな病院で医師と共に激務に耐える看護師たちは、まさに過労死寸前だ。いったい、誰がこんな「悲惨な職場」をつくってしまったのか。その背景には、少子高齢化で高齢患者が急増する一方、医療の人手不足が深刻化していること、診療報酬との兼ね合いで病床削減が起き、特定の病院に患者が集中することなど、構造的な問題が横たわっている。このままでは、医療崩壊は避けられない。労働問題を取材し続けたジャーナリストが、看護師の現状をルポルタージュし、隠れた問題を鋭く提起する。